

初心に戻り、楽しいさくらフェスを!!



さくらフェスみの～れ実行委員
柴崎 祐希さん

「みの～れは大人が本気でふざけられる場所！」と笑顔で話す柴崎さん。

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.78

師走に入り、何かと忙しく過ごされていることと思います。12月22日は冬至。この日に一年の邪気を払い、運をたくさん呼び寄せ無病息災を願うそうです。ビタミンやカロチンの多いかぼちゃを食べて、黄色く色づいた柚子をお風呂に入れて、心と体をホカホカに温めてください。今回は、さくらフェスみの～れ実行委員で小美玉市小川地区にお住いの柴崎祐希さん取材します。

「毎年が集大成」の気持ちで!

柴崎さんは来年4月5日(土)に行われる小美玉さくらフェスティバル2014の実行委員を務めています。

もともと大学で福祉関係を専攻され、実習で小美玉市部室地区にある社会福祉協議会に行く機会があったそうです。そこに勤務する職員さんに紹介されて2009年のさくらフェスティバルの実行委員に入ったのがきっかけで、みの～れに関わるようになった。それから毎年、同実行委員としてみの～れに関わり、断る理由もないので現在も続けている。

趣味はドライブに行くこと。「昨年、低燃費の車を購入したのでますます遠出するようになりましたね。車が大好きで2台所有しています。仕事が休みで出かける用事がないときは、ずっと車をいじっていますね。最近では美術館や博物館に行くのが楽しみです。県内だと天心記念五浦美術館がお勧め

です。落ち着いた雰囲気でも、きれいな所だと思います」と柴崎さんは話す。

「さくらフェスみの～れ実行委員は20名くらいで、その人たちが友達を連れてきてくれるのでさらに人が増えます。野外・ホワイエ・風のホール・風の広場と各部門に実行委員が別れて企画を考えます。各部門を一通り担当したので、最初に担当したところで初心にかえろっと思ひ、今年もホワイエを担当することになりました。毎年桜が咲くか?咲かないか?っていう微妙な時期に開催されるんです。桜以外にも天気や心配気があるさくらフェスが近づいてくるのがあたりがきりきりするんですよ(笑)。4回さくらフェスを経験してやりたいことはやらせてもらって大体夢が叶いました。あと一つ残りは、鬼ごっこですかね?震災があつてさくらフェスが中止になった年があつて、不完全燃焼だったのもう一回翌年実行委員をやったんです。それでも悔いはないから、今回で終わりにしようかなって思つたけど、誘われるとまたやってしまう・・・という繰り返

返しですね」と話してくれた。

柴崎さんにとつてみの～れは「人との繋がりを持つ場所。仕事をしているとしても似たような人との繋がりになってしまつていくけど、若者男女様々な方々と交流することで自分の幅を広げられています。自分は土浦市に勤めているので地元の人と付き合えるのも魅力的ですね。さくらフェスはまた中身が決まつてないので、やりたいことと実際にやれることを見極めながら企画を考えていきたいと思ひます。やっぱり・・・大の大人が鬼ごっこやっている姿って見えないじゃないですか。大人が本気になって怒られずにふざけられる企画を是非やってみたいです」と意気込みを話してくれました。

今年も12名の両手に抱えきれないほど希望に満ちた皆さんと出会うことが出来ました。家族が寝静まった中、一人で皆さんの笑顔や一つ一つの言葉を思い出しながらこうしてパソコンに向かつています。新しい年もたくさんの幸せが無い降りてきますように。良いお年をお迎えください。